

# 私の景気診断

本社定点観測  
景気をどう見通しているか。経営トップ4氏に聞いた。(1面参照)  
interview

富士電波工業社長

よこはた としお  
**横島 俊夫**氏



「工業用の受注環境が悪化し設備投資も宙に浮いている状況だった。注が止まっていたが、徐々に回復している。2年でも地方の拠点と本社を併せて中国の景況感との意識疎通が滞り、2

「工業用の受注環境が悪化し設備投資も宙に浮いている状況だった。注が止まっていたが、徐々に回復している。2年でも地方の拠点と本社を併せて中国の景況感との意識疎通が滞り、2

「工業用の受注環境が悪化し設備投資も宙に浮いている状況だった。注が止まっていたが、徐々に回復している。2年でも地方の拠点と本社を併せて中国の景況感との意識疎通が滞り、2

「工業用の受注環境が悪化し設備投資も宙に浮いている状況だった。注が止まっていたが、徐々に回復している。2年でも地方の拠点と本社を併せて中国の景況感との意識疎通が滞り、2

## 電機部品の入手困難に

「調整については。重要部品の入手が困難になっている。20年後半から、汎用品を含め入手が難しくなった。米国の寒波(半導体関連)の影響は、製品の納期自体が1月と5月ではキロ当たり1000円上昇、コストアップになっても

「調整については。重要部品の入手が困難になっている。20年後半から、汎用品を含め入手が難しくなった。米国の寒波(半導体関連)の影響は、製品の納期自体が1月と5月ではキロ当たり1000円上昇、コストアップになっても

「調整については。重要部品の入手が困難になっている。20年後半から、汎用品を含め入手が難しくなった。米国の寒波(半導体関連)の影響は、製品の納期自体が1月と5月ではキロ当たり1000円上昇、コストアップになっても

「調整については。重要部品の入手が困難になっている。20年後半から、汎用品を含め入手が難しくなった。米国の寒波(半導体関連)の影響は、製品の納期自体が1月と5月ではキロ当たり1000円上昇、コストアップになっても

(大阪・大川藍)